

千葉市で初めて子どもルームの待機児童「ゼロ」を達成しました！

千葉市では、本年4月1日現在で、子どもルーム（放課後児童クラブ）の待機児童数が、初めて0人（前年度71人）となりましたので、お知らせします。

1 待機児童数等の状況

区 分	令和6年4月1日	令和5年4月1日	増減
ルーム設置校数	62校	72校	▲ 10校
ルーム数	136カ所	150カ所	▲ 14カ所
利用申込者数 (A)	8,940人	9,311人	▲ 371人
入所児童数 (B)	8,909人	9,215人	▲ 306人
入所待ち児童数 (C) = (A) - (B)	31人	96人	▲ 65人
学区内に空きがあるが、特定のルームを希望 (D)	31人	25人	6人
待機児童数 (E) = (C) - (D)	0人	71人	▲ 71

※ルーム設置校数およびルーム数の減は、アフタースクールへの移行（10校）による。

※「待機児童数」は入所待ち児童数から、「学区内に他の利用可能なルームがあっても、特定のルームを希望するなど、私的な理由により待機している児童数」を控除した人数

2 待機児童解消のための主な取り組み

(1) 学校施設の活用（7カ所で198人分の受け入れ枠を確保）

利用申込者が多く、待機児童の発生が見込まれた小学校において、放課後の特別教室等の活用を図りました。

(2) 受け入れ枠の見直し（219人分の受け入れ枠を確保）

各子どもルームの児童の出席率をきめ細かく確認し、各ルームの定員数に応じた受け入れ枠の見直しを行いました。

(3) 夏季休業期間限定子どもルームの拡充（7カ所54人の利用を決定）

夏季休業期間（夏休み）のみの利用需要に対応するため「夏季休業期間限定子どもルーム」を令和4年度から実施した結果、「夏季休業期間限定ルーム」の利用を前提に、4月からの利用申し込みを取り下げるなど、待機児童解消にも一定の効果が得られたため、令和6年度は実施校を7校に拡充して実施することとしました。

<参考> 待機児童数等の推移（各年度4月1日現在）

区 分	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
入所待ち児童数	408人	168人	83人	96人	31人
待機児童数	408人	168人	83人	71人	0人